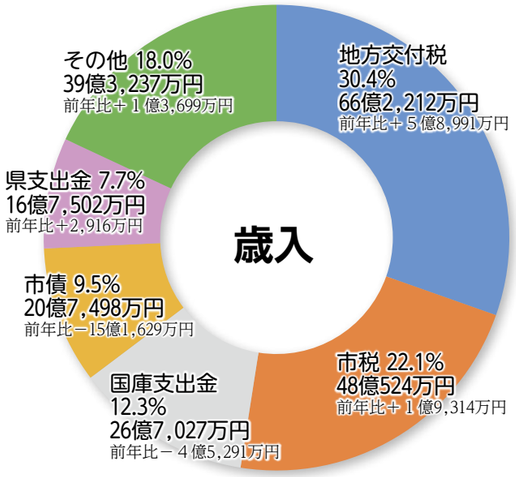
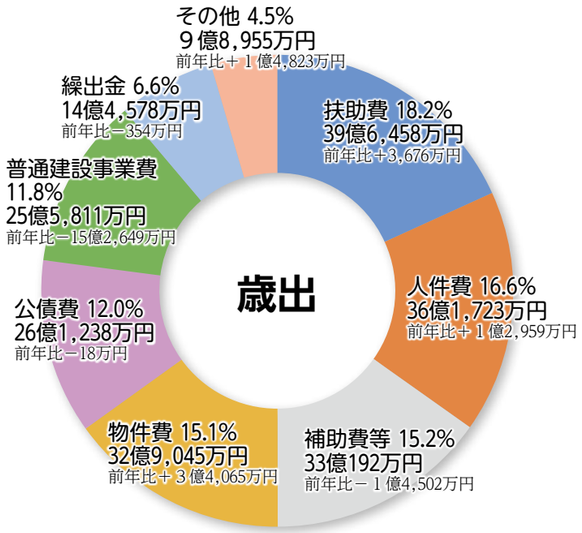
# 令和４年度予算

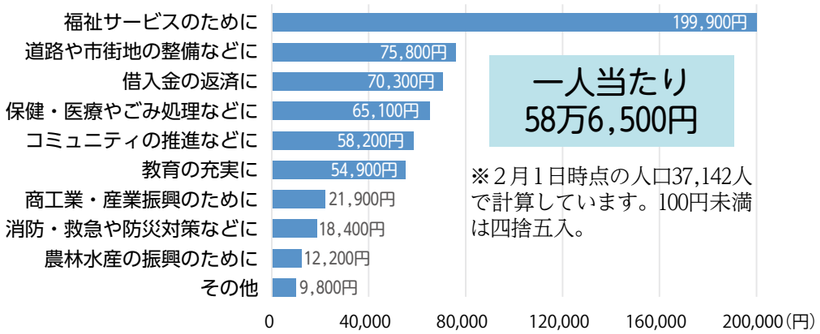
## 歳入・歳出内訳




## 市民一人当たりの予算

一般会計予算総額
**217億8,000万円**
対前年比　10億2,000万円減




一人当たり
58万6,500円

※２月１日時点の人口37,142人で計算しています。100円未満は四捨五入。

# 希望と笑顔があふれるまちの実現
## ～「つながり」で創る協奏社会～

**問い合わせ先**　財政課（☎４３-７１１９）

### 令和４年度市政運営の3つの基本的な考え方

**1**
**安全・安心な暮らしづくりと新たな課題への挑戦**

長期化するコロナ禍、毎年のように頻発する自然災害への対処、脱炭素社会に向けた世界的な流れやＤＸなど、産業・市民生活・コミュニケーションのあり方といった社会の根幹に関わる大きな構造転換が起きつつある中、何よりまず、市民生活や経済活動の土台である「健康・安全安心」、市民の皆さんが抱える「不安の軽減」にしっかりと取り組んでいくとともに、こうした歴史的な構造変化をチャンスと捉え、カーボンニュートラルなど新たな課題にも挑戦していきます。

**2**
**ブランディングの推進**

府中市発展の象徴で、市民の誇りでもある「恋しき」「翁座」の有効活用と波及効果の創出、上下の町並み保全、市民プール建設を視野に、府中駅南エリア全体での集客力や拠点性・回遊性の一層の向上、「ドローンのまち、教育子育てのまち」の進化、稼ぐ農業・稼ぐ中小企業へのチャレンジなど、府中市ならではのホンモノの価値を磨き、向上させていく「ブランディング」を強力に推し進めます。

**3**
**つなぐ・つながる・つなげる**

生涯にわたりスポーツと健康づくりを実践できる新たな仕組みづくり、産学金プロといったさまざまな主体との連携の発展、性別・年齢・国籍・障害の有無にかかわらず希望する生き方を選択し認め合えるダイバーシティや、地域を核とした持続可能な自治振興・協働の仕組みづくり、ＤＸを通じた満足度の高いサービスとコミュニケーション形成など、市役所のあらゆる分野において「つなぐ」「つながる」「つなげる」ことに徹底的にこだわっていきます。

次ページからは、令和４年度予算の中でも重点施策となる21事業を紹介します。

ここにも注目！

各施策を下支えする共通のプロジェクト

### カーボンニュートラルの推進

脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れが起こる中、我が国でも、2050年までに二酸化炭素排出量を半減させるという国際公約のもと、カーボンニュートラルの政策が大きな柱として示されています。

府中市では、二酸化炭素の排出抑制と吸収源対策において、「市役所内の取り組みの推進」、「市内企業の後押し支援」、「市民・企業のムーブメントの形成」の３つの柱を念頭に政策を構築します。

取り組みの方向性

■新たに政策企画課を中心とした庁内プロジェクトチームを立ち上げ、次のことなどについて調査検討を進め、可能なものから実行する。
▷省エネ、再生エネルギー活用、ＤＸ推進など市役所内の取り組みの推進
▷市内企業の取り組みや課題解決の後押し支援
▷未利用材、間伐材を活用した木質バイオマス
▷エコ・グリーンビジネスなど、観光・地域振興を組み合わせた農林業の再生
▷消費行動、ＣＳＲなど市民・企業参加型の資金調達、資金循環の方策
■大学、金融機関との連携協定を含め、外部・有識者からの知見を積極的に獲得する。
■府中市環境基本計画10か年の中間見直しにあわせ、二酸化炭素排出量など基礎データを収集整理する。

### ＤＸの推進

感染症の拡大によって人と人との「つながり」に物理的距離が求められる中、いかにして人と人がつながるか、情報をどのように共有するのかという課題を解決するため、これまでの取り組みをさらに進化させ、新たなコミュニケーションを創造します。

これまでの取り組み

▷光ファイバー網全域整備
▷総合型アプリ「My府中」
▷防災ダッシュボード
▷子ども見守りＡＩ「府中っ子」稼働
▷小・中学校校務支援システム稼働
▷保育所園務システム稼働
▷フレイルプログラムの展開

これまでの取り組みを発展させる

令和４年度の取り組み

▷市民総合窓口の構想・構築
▷リモート相談（多点間連携）構築
▷地域おこしハッカソン（企画立案から実行に至るプロジェクト）の実施
▷オンラインによるデジタル窓口の企画
▷医療系ネットの行政的活用と機能拡充
▷医療と介護の融合サービス
▷「つながる」をコンセプトとした複合的な市民サービスの創造